

菅田氏七段 田中氏六段 野村氏五段

祝！トリプル昇段

去る2月15日、菅田氏、田中氏、野村氏三名の昇段を祝って、稽古会と昇段祝賀会が開催された。大勢の剣友が駆けつけ、道場所狭しと活気溢れる稽古会となった。また、その後の祝賀会には日本剣道連盟会長武安義光氏も臨席され、お祝いの言葉を賜った。



昇段した後列野村兄、田中兄、菅田兄
 前列 関根先生、松森先生

昨年十一月の審査会で菅田正人兄が七段に昇段し、いっお祝いの稽古会をと相談するうちに、田中(伸)兄が六段に、年が明けて野村兄が五段にと次々と、昇段の報が寄せられました。

菅田兄は、本年四月迄、千葉県安房郡の安房農業高校で教鞭をとる傍ら、剣道部の顧問として、生徒を指導して 来られました。当会「秋の合宿」も兄のお世話で続けることが出来ました。(兄は本年四月から、館山市の県立館山高校に勤務されております。)又、田中兄は、当剣友会の土曜稽古会に熱心に参加され、地元小茂根剣友会では、小学生や中学生の指導にあたられております。

野村兄は、現在千葉経済大学付属高校で教職に就かれております。忙しい職務の合間に当会土曜稽古会や合宿にも参加され、怪我を乗り越えての五段昇段となりました。



祝
 七段 菅田
 六段 田中伸和兄

奥様、お嬢様、田中兄、西川先生

当会としても、三名の同時昇段は稀なことで、稽古会や合宿で、ご指導戴いた先生方や関係者にも連絡し、盛大な稽古会を開催しました。関根名誉師範松森先生、西川先生、竹内先生酒井先生。神奈川県警の吉統先生にご臨席を戴きました。又、旧制高校剣友会の中谷、打木両先輩にも、元立をお願いしました。

記念撮影の後、早速稽古に入り、約五十分の稽古の後、先生方には風呂にお入り戴き、更に会員相互の稽古を続けました。カメラは、いつもの様に、矢倉美喜代さん(昭四八)に、お願いしました。



松森先生も西川先生も「弥栄ー」

稽古に引続き、六時から江古田『鳥信』で祝賀会が、開かれました。旧制武蔵高校OBで、全日本剣道連盟会長の武安義光先輩から「今後は剣道発展の為に、励んで下さい」と、お祝いの言葉を賜りました。

ご本人の希望で菅田兄には、胴着が、田中兄には金一封が、お祝いに駆けつけた同期の佐藤安紀子さんと矢倉さんから、手渡されました。又、野村兄にも稽古会有志から竹刀袋が贈呈されました。剣道部からも三氏に花束が贈られ和気あいあいの内に宴は、盛り上がりつつありました。西川先生の愉快なお話に、ゲストの千葉大学剣道部員は、腹を抱えて笑い続けました。

真剣に、捨て身で、自然に

菅田 雅人 (昭六十二年卒)

今日は平成十五年四月十五日。今は午前0時。家族が寝静まって、長男(小学二年生)の机でこの原稿を書いています。七段昇段の所感を言うことですが、昭和五七年四月の武蔵大学剣道部入部から現在まで、思いつく俣を書かせて戴いて、所感にしようと思います。

今を去ること二十一年前、私は武蔵大学に入学致しました。そして、あの木の衝立に張り出された自分の名前と、先輩の笑顔に誘われ、迷うこと無く剣道部に入部しました。あまり記憶の良くない私なのですが、剣道部に関する事からは、怖いぐらい克明に覚えているのです。剣道部でのそれからの様々な出来事や体験のお陰で今現在の自分はあると思っています。

絶対神・関根日吉先生。先生からは、剣道の素晴らしさを教えて戴きました。そして二年、三年、四年の先輩方。あの稽古。あの合宿、試合、Cランチ、ムサハイ、トキスパ、遅刻早素振り、誕生稽古、朝までママン、大黒屋、ウェディングベル、配達センターでのアメフト、寒稽古後のモーニングセット。駄目だ、止まらない。先生、先輩、後輩、すべての方から生きることの大切さと素晴らしさ、人間関係の大切さを教えて戴いた四年間でした。

そして平成八年から七年間千葉で続いている、剣友会の秋合宿。警視庁の竹内先生、西川先生、酒井先生、そして松森先生との出会い。謙虚なお人柄と豪快な飲みっぷり

そして激しい稽古。稽古と酒で、厳しく鍛えて戴いていると、その余りの凄さは、学生時代にタイムスリップした錯覚に陥ります。それはもう快感としか言えません。これらの気の遠くなるような膨大な出来事と、出会い。それによって知った剣道と人間の素晴らしさ。一日一日を大切に、人を信じ自分を信じ、真剣に生きること。尚且つ、その勢が、無理なく、自然で自分らしい姿であること。それらを常に心に置いて、生活し仕事をし、そして剣道をしております。剣道にしましては、昔も今も不器用ですが、常に相手に負けぬ、真剣な気持ちで剣を交えることを大切にし、捨て身の技の会得を心掛けています。

全くまとまりが無く、困りましたが、これからも感謝の心を忘れずに、生きていこうと思います。関根日吉先生、そして緒先生方大変ご迷惑を掛けた先輩、後輩の皆様、本当に有り難うございました。今後共、よろしくお願い致します。

最後に平成十七年8月に千葉県館山市で、インターハイ剣道大会が開催されます。四月から地元館山高校に勤務しております。開催地出場を夢に、頑張っていこうと

思います。当地へお越しの際は是非ご連絡を下さい。お待ちしております。



佐藤安紀子氏 菅田兄

心・気・力

田中伸和(昭和四八年卒)

昨年十一月名古屋にて六段昇段をやっと果たしました。これも関根名譽師範、松森師範及び先生方、諸兄のお陰と感謝して折ります。

毎土曜日の大学での稽古は、必ず関根、松森両先生に掛かるようにしました。週一回の稽古で、いかに質の高い稽古をする

かが課題で、攻めが弱いと指摘されていきましたので、一回一回の稽古に気を張るようにしました。すると段々相手の気が感じられ、良く見えるようになってきました。今までは自分勝手に打っていたのが、相手の気に合わせて打るようになりました。さて、審査当日は、又駄目かとの思いが一瞬頭をよぎりましたが、これまでの稽古を思い描き、相手を呑むことだけを考えました。

すると面が知らずの内に出て相手の小手が大砲の弾の様にでかく見えたと思ったら、出小手を打たれていたと言った次第です。

関根先生が折に触れて話をされる「相手の心を打つ」境地にはまだまだですが、その言葉を目標に、これからは剣友会の稽古を大事にして、お互いが切磋琢磨して向上出来ればと思います。私程度でも、根気よく続ければ、何とか物になりますので稽古を再開したい方は、是非道場でお会いしましょう。

最後に千葉周作の最も好んだ言葉、「それ剣は瞬息、心・気・力の一致」

桶川剣友会と

合同稽古会

去る三月二十二日(土)、埼玉県桶川市の総合体育館内の剣道場で、桶川、武蔵両剣友会の合同稽古会が開かれました。

桶川剣友会は、子供たちの剣道育成にも力を注がれており、手塚哲男兄(昭四二年卒六段)が会長を務められている関係で、予てより合同稽古会のお誘いがありました。

当日は午後一時に桶川駅集合、二時より稽古会が開始されました。当会からの参加者は七名(長谷川勲、長谷川晃、土屋一徳、渡辺欽五、松井邦夫、佐藤則夫、高田寿)で、一方桶川剣友会からは、十五名の方々が参加され、盛況な稽古会となりました。



手塚桶川剣友会長を囲んで

計 報

谷本正隆兄
昭和四四年卒業
平成十四年六月
急性心不全の為逝去



谷本正隆兄の思い出

「谷本です。大毎(現ロッテ)にいたキャッチャーの谷本と同じ谷本です。」彼はそう自己紹介をした。「ん?」と、回りの者は顔を見合わせた。誰もそんな捕手の事は、知らなかった。しかし、そのことで我々は彼の名前と大毎の捕手の名前を覚えた。タフで行動的な男であった。休みの日、我々剣道部員仲間が下宿先で、ゴロゴロしている処へ来ては、外へ連れ出そうとした。誰も応じない時は一人で方々へ出掛けて行った。夕方戻って来ると、その日の見聞を披露した。歌声喫茶も安酒屋の

コップ酒も、彼に教えて貰った。一度、八月末の湘南の海へ彼に付き合った事がある。人も少なく、うら寂しく、興ざめをする思いであった。無論、泳ぐという気等、到底起きなかつた。彼は言った。「季節外れの海を俺は知った。それだけでも来た甲斐があった。」肯定的に物事を捉える男でもあった。一年生の終り、成績表を上級生に求められ、その不振の故、全員正座をさせられた。「我々剣道部員は、文武両道の徒でなければならぬ。」当時の主将嶺岸大兄は、宣うた。その学業だが、三年生の時、彼と紙谷と私の三人で原書購読の授業をとった。この授業の学年末の成績のワーストスリーを我々が占めた。その直ぐ上には、柔道部の連中がいた。四年間の総合成績も、我々は芳しく無かった。同期の他の五人の仲間の名譽の為に申し上げるが、一年生の時の、説教で発奮したのか彼らはまずまずの成績であったはずである。

剣道の思い出をひとつ。彼の剣道は徹底したフェイント剣道であった。竹刀をちょつと、担いでからの面は、彼の得意技であった。三年生の時の、関東大会個人戦でも、この技で勝ったことがある。私は彼から屈辱的な一撃を喰った思い出を持つていた。試合中に転んでしまった時の対応が、彼と私とは違っていた。彼はその場合、剣道をスポーツと捉えているから、俯せになつて両手で、頭の上に竹刀を立て、相手の攻撃を防いだ。私は真剣であったなら切られてしまうと云う恐怖から、めつた矢鱈と下から竹刀を振り回し抵抗した。東都大学剣道大会の前日の練習試合の時であった。彼との対戦で、私がある状態になつてしまった時、彼はすかさず一本を捕りにきた。私は胴を狙ってそれに備えた。が一瞬間を外された。ズシンと衝撃が頭を走った。私にとつて、翌日の試合に影響を与えられかねない程の見事な一本であった。為てやたりと、彼はにんまりした。病が悪化する迄、彼は人脈造りで全国を飛び回っていた。為すべきことがあったのであろう。だが彼は逝った。我々同期の会を「やぼう会」という。だが、最も野望的であった男は、志し中途で逝ってしまった。

昭和四四年

卒業

石井経剛

合唱

会員の父母、配偶者、実子が亡くなった時は、当会より弔電をお送りしております。(本人死亡の場合は、一万円の香典。)

連絡係松井まで、ご一報下さい。

「一回限りの小手麵堂」日記

その日は十一月の初旬ということもあり、昼間は暖かだったが、日が暮れると空気がヒンヤリしていた。学生会館の最上階から眺める景色は昔見つめていたものと同まったく同じであった。時は夕暮れ、近景には学園の豊かな木立が、環七の向こうには、ビル・マンション群がそびえ、夕食の準備にとりかかっているであろう灯かりが見える。空には一番星がキラリ。



そう、私は翌日の「一回限りの小手麵堂」の煮物の仕込みのために、学生会館六階のベランダに来ました。大学主催の「八号館竣工



披露パーティー」と「ホームカミングデー」で、模擬店を開いてみませんかと、大学同窓会より打診がありました。夏ごろ。参加される卒業生をパッと盛り上げようじゃないかという趣旨でした。我が武蔵大学剣友会幹事会の場において、慎重に討議を重ねた結果、「やっちまおうか？」という結論にすぐ至り、その場で焼き鳥にしようとか、おでんがいいとか、ウマイ酒が飲みたいとか、そんな話で飲みに行っちゃったのはご想像の通りです。

食い物はコンニャク玉と里芋の煮物を特製ブレンド味噌でいたたくもの、飲み物は全国各地のOB・OGにはほぼ強制的に無償提供を求めたところ、こころよく提供の申し出をいただき、すばらしい

品揃えとなりました。高級酒、レア物がズラリ。(リスト別掲)

当日は風の強い晴れた日でした。十一月九日(土)。準備万端。隣の露店はガスの火が弱いのか、煮えるものも煮えません。ガスコンロを貸してあげました。

最初の客は、足の骨を折ったサッカー部の学生でした。「飲めば十五分で治るぞ」と恐喝し、一杯四〇〇円で売りました。「うめえー」という言葉はたいへんうれしかったです。気温十度を下回る屋外で、なぜかアイスクリームを売る隣の露店の女の子たちは諦めムード。我が「小手麵堂」はさらに活気増し、ピーク時には客をさばききれない程の盛況でした。うまい酒はみんなわかるんですね。午後三時頃には完売しました。仕入が三万、売上げが九万、儲けの六万は剣友会に寄付いたしました。

全国各地でがんばっておられる各OB・OG方、特にこころよく名産品を送っていただいた方々、皆さんの寄贈品は魂を込めて販売させていただきました。江古田の地で来場した卒業生の方々の胃袋

に全て消化されました。感謝。

我が剣友会、第一期生の長谷川先輩が卒業されたのが昭和三十七年。奇しくも私はその三十七年生まれで、御歳四十歳となります。卒業して二十年経ちますから剣友会の組織の中でもちようど半分ぐらいの位置にあります。二十年といえば口で云うのは簡単ですが、仮に昭和三十七年のその年から二十年遡れば、太平洋戦争勃発の昭和十七年に至るのでありますから長い年月であります。

疲れた時には「江古田」にお立ち寄りください。今でも道場はそこにあります。

(文責 三木真人 S六〇)



こんなに沢山の剣友から戴きました

卒業年次	県名	氏名	酒 焼酎 漬物
S39	東京都	村田淳一	純米酒「鬼殺」純米酒「老穂」大吟醸「真野鶴」清酒「真野鶴」金箔入 吟醸限定「真野鶴」清酒「宴」清酒「ときめき」
S41	秋田県	渡部昭夫	平山孫兵衛商店より「青菜漬」他
S42	千葉県	中邑房夫	特別純米酒 「不動」2本、てっぽう漬
S42	大阪府	伊藤巖	純米吟醸酒「秋鹿」つぼ漬、しば漬
S44	奈良県	松山 創	清酒 「信貴」、純米吟醸 「白滴」
S48	福井県	萩原康夫	清酒 「一本義」2本
S49	長野県	丸山晴義	本醸造「高嶺錦」野沢菜
S53	山形県	鈴木泰夫	本醸造「上喜元」、漬物詰合せ
S59	岡山県	守安俊明	清酒「武蔵」2本
S59	群馬県	玉木浩毅	大吟醸「巖」
S60	福島県	管野昭浩	清酒「からくち生 」純米酒「千功成」 やっこちゃん漬、椎茸おかか他
S60	広島県	土持敦志	当日到着のため銘柄不明
S61	鹿児島県	土持博和	当日到着のため銘柄不明
S62	秋田県	糸井一保	清酒 「よこての女」、漬物「いぶりがっこ」
H01	宮崎県	杉野五月	焼酎「黒霧島」「霧島」「飢肥杉」「名月」 「日向木挽」
H03	石川県	光藤真人	純米吟醸 「萬才楽」、純米 「天狗舞」
S61	東京都	佐藤安紀子	当日到着のため銘柄不明

「武蔵大学剣友会 HP (ホームページ) 準備室」のご案内

<http://www.minakuru.net/index.asp>

ID kote (小手)

PW (パスワード) men (面)

細々と更新を続けております。会員制となっております。お気軽にお立ち寄りください。

平成十五年度

総会開催

去る、三月二十九日に武蔵大学一二一号教室で、開催された平成十五年度武蔵大学剣友会総会の席上で、平成十四年度決算、並びに十五年度予算案が、承認されました。(別表)

開会后、第一号議案、第二号議案が大竹会計幹事より説明がありました。「昨年度の収入の部はホームカミングデー協賛のみそおでん「小手麵堂」の収益と、秋の合宿の余剰金繰り入れのお陰で、少し息がつけましたが、本年度は特段のイベントも、計画されておられませんので、収入の大きな伸びは、期待出来ません。」

第三号議案の本年度役員は、全員の留任が承認されました。第四号議案では、松井幹事長より、平成十五年度を十六年六月末日迄として、十六年度を七月一日から十七年六月迄とする旨提案があり、検討の結果全員の賛成で承認されました。これにより来年の総会は、七月に開催される事が、決まりました。

今年も夏、秋の両合宿や毎週土曜日の稽古会、十二月の学連学友剣道大会、昇段の記念稽古会等、限られた予算で、充実した活動を実行に移して行くことを、確認しました。(松井記)

武蔵大学剣友会 平成14年度 会計報告及び平成15年度予算

平成15年3月29日
武蔵大学剣友会
会計幹事大竹茂雄



項目	H14決算額	H15予算額
前年度繰越額	178,852	219,165
収入の部		
口座振替年会費	1,028,000	1,050,000
振込他年会費	123,000	150,000
預金利息	7	0
寄付その他	169,551	0
小計	1,320,558	1,200,000
収入の部合計	1,320,558	1,200,000
支出の部		
先生方 謝礼他	325,000	325,000
OB合宿及び現役夏合宿時先生方謝礼	170,000	190,000
監督年間交通費	50,000	50,000
新人勧誘費援助金	47,350	40,000
夏合宿援助金	100,000	100,000
現役支払OB連絡費他 負担金	50,000	50,000
OB会扱いOB連絡費他	89,208	85,000
学連剣友会 参加費他	160,000	120,000
明生ビジネス、郵便為替取扱手数料	25,590	27,000
新聞発行費用	27,720	30,000
夏合宿先生方宿泊代他	30,860	30,000
卒業生寄贈及びOB剣友会加入 名札代他	24,090	10,000
昇段 記念品	57,565	60,000
慶弔見舞	37,457	30,000
手拭代	40,000	0
その他	45,405	40,000
支出の部合計	1,280,245	1,187,000
次年度繰越額	219,165	232,165
平成15年2月28日現在預金、現金内訳		
みずほ銀行 渋谷中央支店	197,675	
東京三菱銀行 渋谷支店	21,490	
渋谷郵便局	0	
合計	219,165	

監査報告書

平成14年3月1日～平成15年2月28日の会計年度における当会の収入、支出に関し調査した結果、正確であることを認めます。

監査 後藤 一於



平成15年度の予定

- 3月29日 総会 14年度決算
15年度予算
15年度役員
- ・ 昨年の収入は132万円、支出は128万円で、約22万円の繰り越しとなりました。
 - ・ 支出合計118万円の活動予定が承認されました。
 - ・ 14年度の役員が全員留任と決定しました。
- 4月 新入生勧誘
- ・ 毎年、勧誘パンフレット作成等、勧誘に係わる援助をしています。本年度は9名の部員（男子5名、女子4名内専任マネージャー2名）が入部しました
- 5月 新入歓迎稽古・コンパ
- ・ 毎年、安藤宏三先生著「練習のプログラム」を、新入部員に進呈していましたが、同著は発売中止となりました。本年は本学の校章押型の、名刺入れを贈りました。その他Tシャツ、手拭、創部40周年記念誌「剣縁」も進呈しました。
- 機関紙「和」発行
- ・ A四判八ページ ・本年度は一回発行
- 6月14,15日 打木道場稽古会
- ・ 旧制高校剣友会 塩山在住の打木城太郎先生の道場「自然館」で稽古会を、開催します。人数に限りがありますが、元警視庁助教の松森、竹内、酒井の3先生にご指導戴き、夜は懇親会で剣道談義に花を咲かせます。
- 22日 春季四大学剣友稽古会
- ・ 四大学剣道大会終了後、審判の先生にも参加戴き、OB、部員全員の合同稽古会が開催されます。
- 8月30,31日 夏合宿
- ・ 剣道部との合同合宿（二泊三日）
 - ・ 実施場所 沼津市三津 内浦小学校
 - ・ 指導の先生 西川清紀先生（警視庁）竹内三郎先生（警視庁）酒井 勝 先生（警視庁）吉統千城先生（神奈川県警）小山 潤先生（神奈川県警）
- 11月8,9日 秋合宿
- ・ 実施場所 千葉県館山市 県立館山高校剣道場
宿 泊 民宿 太郎兵衛
- 12月 関東学連剣友剣道大会
- ・ 「竜王杯」7名(補3名) 1チーム
「鳳凰杯」5名(補2名) 1チーム
竜王杯は45歳迄、鳳凰杯は、46歳以上の参加資格です。
6月に選手登録します。参加希望者は、笹川学連担当幹事（勤務先03-5375-1871 携帯090-8945-0629）へ、お申込下さい。
- 1月 稽古始め
- 2月 追出稽古・コンパ
- ・ 剣友会入会証、名札（重複ネーム・15年度は2名）贈呈
- その他通年の活動
- ・ 六段、七段昇段祝
 - ・ 弔電
 - ・ 祝電

昭51卒 笹岡秀次兄が5月11日の審査会で七段に昇段致しました。
記念稽古会、祝賀会は、関係者に追って連絡します。

- ・ 毎週土曜日稽古会（2ヵ月毎に総額50件）稽古会の案内ご希望の方は連絡係松井迄ご一報下さい。

- ・ 幹事会 2ヵ月に一回開催

剣道部

新入部員が九名 専任マネージャーも補強

去る四月二六日午後六時より、江古田『村田』に於いて本年度新入生歓迎コンパが開催され、九名の新入部員が紹介されました。欧さんと、斎藤さんは、専任マネージャーで二年生の中野さんと3名で部活を支えることになりました。

又、鈴木美由樹さんは本部初のスポーツ推薦で入学しましたが、昨年来年度か本部の見学を兼ねて、稽古に参加しています。今後、この制度を活用し、一人でも多くの部員が獲得出来るよう願うものです。これで、四年生二名、三年生三名、二年生九名、一年生九名、合計二二名となりました。三膳主将、梶山主務、と吉田君。三年生トリオが、下級生のポリューム集団をまとめ、どのように強いチームを作り上げるかが、大きな課題となるでしょう。

春の四大戦

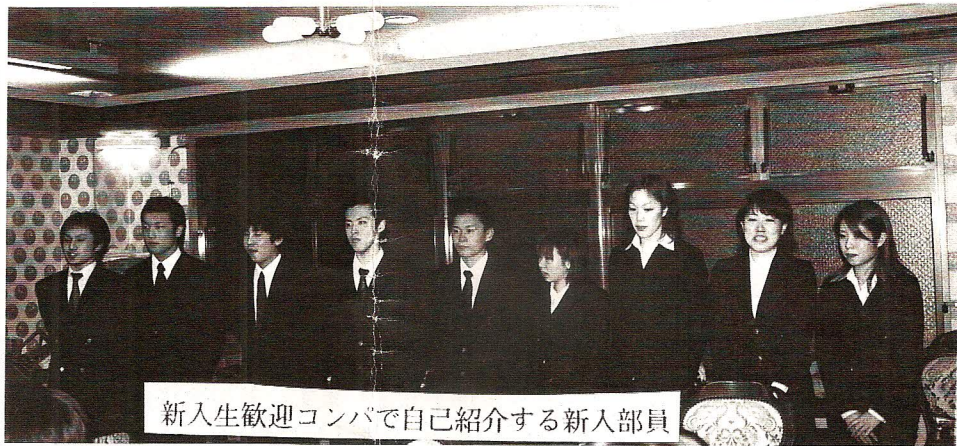
今年の春季四大学剣道大会(個人戦)は、六月二二日(日)、成蹊大学で開催されます。例年とは指向を変えて、どの大学も全員参加の形式で実施致します。トーナメントですが、試合数も増えて、激戦が予想されます。大勢の方々の応援をお待ちしています。

平成15年度 新入部員名簿

氏名	段	出身高校	氏名	段	出身高校
近藤真也	参段	県立大分上野丘	石橋 優	貳段	市立富士見丘
高山 令	貳段	県立小山	鈴木美由樹	貳段	都立明正
長野靖二	貳段	市立成田	斎藤 希	専任マネージャー	市立富士見丘
星野将弘	参段	市立桐蔭学園	欧 チンイン	専任マネージャー	県立岩槻
三船雄一	参段	都立武蔵丘			

夏の合宿

今年の夏の合宿は八月二五日から三十一日まで、沼津市の内浦小学校体育館で実施します。三十三、三十一の両日は、剣友会との合同合宿です。今年、は最終日まで稽古を致します。宿所は沼津市内浦三津」とさ



新入生歓迎コンパで自己紹介する新入部員

梶山裕二郎君 (三年) 全国大会へ出場

去る五月十一日、日本武道館で開催された関東学生剣道選手権大会で、当剣道部の三年生梶山裕次郎君(四段)が、四回戦に勝進み、六月二九日(日)大阪府立体育館で開催される第五回全国学生剣道選手権大会に出場が決定した。

一回戦上智大学の塩野から面一本勝ち、二回戦は大正大学の町から同じく面一本勝ち、続く三回戦では日体大の小野寺から小手一本勝ちと、順調に勝ち四回戦へと駒を進めました。四回戦では惜しくも早大の首藤に敗れたものの、ベスト五三に入り、全国大会の出場を決めました。

当部から個人戦で全国大会に出場するのは土持敦志兄(昭六十卒)依頼二人目で、18年振の快挙と言えます。全国大会での更なる活躍を期待します。一緒に出場した三膳君(三年)中岡君(二年)は、惜しくも一回戦で敗退しました。剣友会では、梶山君への激励の寄付を受け付けます。一口五千円で何口でも結構です。

同封の、郵便局振替用紙をご利用ください。又、連絡係松井迄、一報戴ければ、会社、ご自宅迄受取りに参ります。